



■第4回「おひさまフェス×星空上映会inかわさき 2018」報告 ～暮らしたい未来は、自分たちで創る～



10月20日(土)、「おひさまフェス×星空上映会」を開催しました。このイベントで使用する電気は、当 NPO 法人の2号機発電所で発電したソーラーの電気を横浜トヨペットから提供いただいたプリウス PHV に充電し、「市民がつくった電気でおまつり」というキャッチフレーズを実現しています。

フェス前日、草刈りやスクリーン設置などの準備を小雨と風の中やりました。

それでも当日は天候に恵まれ、気持ちのいいスタートが切れました。しかし、今年も雨にたたられました！昼間は最高の天気だったにもかかわらず、夕方からの雨と風でまともな上映会は急遽中止。でも、考えてみると自然エネルギーを使った屋外イベントは、「自然との共生」がメインテーマであればそれを受け入れることも当たり前なのかも知れません。中止を決めた後の撤収は褒められるほどの速やかな行動でした。第4回を迎えるこのイベントは、第1回目を除き天候に悩まされています（1回目も前日は大雨。たまり水対策に苦労しました）。第2回は雨天の予報のなか決行。第3回の去年は台風で1か月以上延期したにもかかわらず夕方からの冷たい強風で上映会は中止。

12時から、飲食関係はキッチンカーを含む18ブースが出店。王道の焼鳥、ケバブ、初出店は久地の地ビール“BRIMMER BEER”など、来場者も大いに味わっていました。体験・子どもひろば・展示関係は16ブース。恒例の子どもイスづくり、輪投げ、初出店の苔玉ワークショップ“古今玉 碧”、専修大学ボランティアサークルの防災ワークショップも人気でした。10月開催ということもあり、「ハロウィンクイズラリー」で再エネについて学んでもらい、こたえを集めた子どもたちに景品を渡しました。準備が充分



とは言えない中で多くの子どもたちが参加してくれました。

ステージ出演は 12 団体（者）で、これまでで最高となりました。今年初の試みとして、会場の上の入口にグリーンステージを設けることにもチャレンジ。

初出演の“COLORFUUUL”は追っかけのファンも来ました。在日コリアンラッパーの“FUNI”さんは参加者の心に響くラップを聞かせてくれましたし、サニーさんも参加者を巻き込み楽しませてくれました。毎回参加の“宿河原華匠舞太鼓と和太鼓仲間”はいつものように会場を盛り上げ、“ザ・思いやりバンド”の演奏は心に沁みるものがありました。



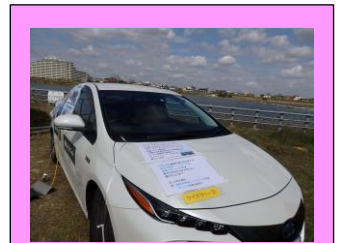
川崎から PEACE を叫ぶ！ ラッパーの FUNI さん。



鏡 200 枚を使った「太陽光大実験♪」

今年は特に『再エネひろば』が充実したものとなりました。恒例の太陽住建のソーラーバッタ、自転車発電も人気で、鏡 200 枚を使ったポップコーン作りなど、これまでにないアピールができたのではないかと思います。

当日会場の近くで催された参加 1 万人を超える多摩区民祭とバッティングしたにもかかわらず、1000 人以上の参加があったことは成功と言えると思います。



毎年、音響の電源は、市民がつくった電気（太陽光発電所の電気を電気自動車に充電）で賄っています。



『再エネひろば』の 5 ブース。舞台裏です

今年は実行委員会を 5 回開催。その合間に事務局会議を開いてきました。これまでは当日の準備段階でやった草刈りも、出店する方が頑張ってくれました。実行委員会で初めて出店した“焼そば”は利益も生み出し、資金作りを含めて今後の可能性を見出したと思います。昨年に続く手作りスクリーンは、発案者の田中哲男さんの奮闘で「自分たちで創りあげるイベント」の象徴になったのかもしれませんが、また、電気自動車を提供していただいた横浜トヨタペットも今後の企業との連携に可能性を広げてくれたと思います。

このイベントのミッションでもある「再生可能エネルギー」をもっとアピールできないかということや、実行委員会形式での参加団体と一緒に準備段階から創り上げていけるような仕組みにできないか等、まだまだ課題はたくさんあります。次回開催はあるのかという合意はまだとれていませんが、今回できなかった上映会後の“キャンドルナイト”の素材は、しっかり預かっています。



川崎再エネ条例制定の署名集めをしました。



■いよいよ発電所「4号機」決定か！？



発電所「4号機」建設予定地

3号機のDIY設置工事が2017年11月19日だったので、早1年が経とうとしています。

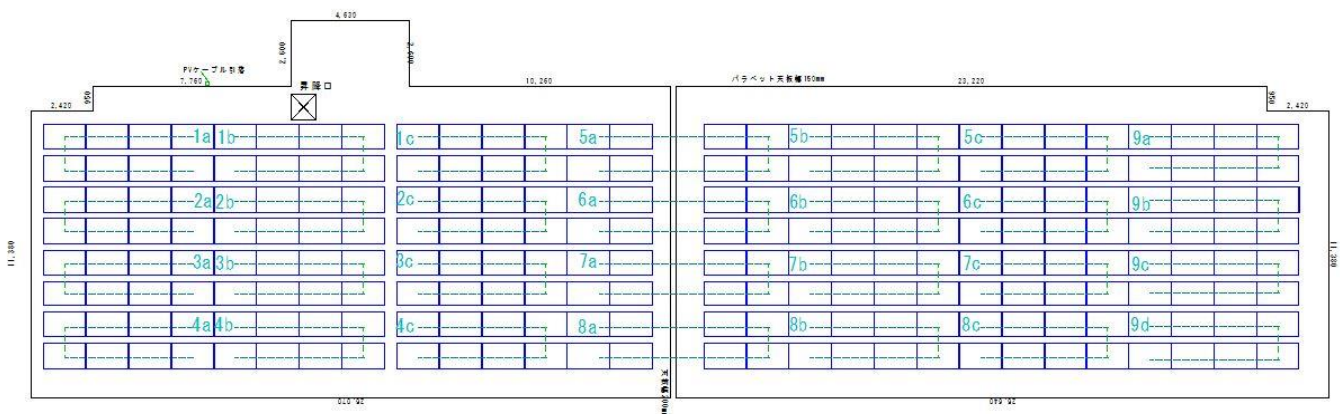
4号機の設置場所を募集していたところ、中原区のマンションの屋上（陸屋根）を貸していただけるというお話があり、9月にオーナー立ち合いのもと、屋上に登って採寸しました。

陽をさえぎるものもなく、とっても広い屋根で、パネルは224枚(60kW)くらい乗りそうです。細かい設置方法などはこれからの検討となりますが、早速、電力申請をしました。いまは、経産省申請のための資料を集めるのに苦戦しています。

2019年半ばには完成させたいのですが。建設資金は、市民出資を募ることになると思います。

事業検討チーム 木田 千栄美

発電所「4号機」屋上 平面図（案）



■自己紹介コーナー■ No.24

今月の自己紹介は、困ったときの頼みごとをいつも笑顔で引受けてくださる鈴木伸予さんです。



2018年7月の総会で新しく監事を務めさせていただくこととなりました。よろしくお願いいたします。

私は、2012年から秋田県にかほ市で生活クラブ風車「夢風」の事業をしています。

生活クラブ生協で、台所から被害者にも加害者にもならないと石けんの取り組みや、リサイクルではなくリユース瓶を使うことなど環境に負荷をかけない暮らしをすすめてきました。しかし、地球温暖化は待たなしに迫っていました。そこで生活クラブ生協では、2010年から自然エネルギーによる発電にチャレンジしようと

議論を始めました。2011年の3.11があり、原発はキケン、人間がコントロールできるものではないということに皆が気づきました。

そして、国や東京電力にお任せにしていた私たちも大いに反省しました。

市民が自分たちでつくるエネルギーに携わっていくことがとても大事なことです。原発は、何を言ってもダメなものはダメです。これからもよろしくお願いいたします。

川崎市多摩区在住 監事 鈴木 伸予

東京電力の柏崎刈羽原発の再稼働の動きが進んでいます。

川崎から、脱原発、自然エネルギーを進めて行きましょう！

【編集後記】 10/20、4回目となる「おひさまフェス」を開催することができました。ご参加・ご協力いただきありがとうございました。天候不順には毎年悩まされています。星空上映会が中止となったことは残念でしたが、昼間は太陽に恵まれ、特に今年は再エネひろばが充実していて大成功！市民発電所と電源車のことも認知されてきたのが嬉しい。

今後は、「4号機」の誕生に夢が膨らみます。

(加藤伸子)

■NPO 法人 原発ゼロ市民共同かわさき発電所■
ホームページ

<http://genpatuzero-hatuden.jimdo.com/>

フェイスブック

<https://www.facebook.com/genpatuzero.hatuden>

連絡先 TEL 090-7948-6189 (川岸)

■でん太通信12月号はお休みさせていただきます。

